

## 〈解答〉

- ① 1 (1) ①：集団戦法 ②：火器 (2) 徳政令  
2 (1) 管領 (漢字2字指定) (2) 下剋上 (3) 書院造 (4) ア  
3 (1) 島原・天草一揆 (2) 鎖国

配点 ① 2(1)は2点, 他は各1点 10点満点

## 〈解説〉

- ① 1(1) 1274年10月, 元軍は九州北部に押し寄せ, 博多湾(福岡県)に上陸した。元軍の集団戦法とすぐれた火器などの武器におされ幕府軍は苦戦したが, 冬が来ると補給や撤退が難しくなることもあって元軍は引き上げた。1281年6月, 元の大軍が再び九州北部を襲ったが, 元軍は, 幕府軍の抵抗や海岸に築かれた防塁にはばまれて上陸できず, 激しい暴風雨のために壊滅的な打撃を受けて引きあげた。1274年の文永の役と1281年の弘安の役を合わせて元寇〔蒙古襲来〕という。
- (2) 御家人は, 分割相続が繰り返されて領地が少なくなっていたうえ, 元寇で出費がかさみ, 生活が苦しくなっていた。1297年, 御家人を救うため, 御家人の売った土地をただで返させる永仁の徳政令が出された。
- 2(1) 室町幕府には, 管領と呼ばれる将軍の補佐役が置かれ, 細川氏や畠山氏などの有力な守護大名が交代でついた。また, 関東には鎌倉府が置かれ, その長官を足利氏の一族が受け継いで, 関東の支配を担った。
- (2) 山城(京都府)では, 1485年に武士や農民らが団結して守護大名を追い出し, その後8年間の自治を続けた。浄土真宗〔一向宗〕がさかんだった加賀(石川県)では, 信者が団結して一向一揆をおこして, 守護大名らを倒し, 100年近く自治を続けた。このように下位の者が上位の者に実力で打ち勝ち, 地位をうばう風潮は下剋上と呼ばれ, 社会全体に広がった。
- (3) 応仁の乱以後の混乱に背を向けた足利義政は, 京都の東山に禅宗の影響を受けた質素で気品ある銀閣をつくった。銀閣には禅僧の住まいをまねた書院造が取り入れられた。このころの文化を東山文化という。
- (4) イ, エは江戸時代の社会の様子。ウ平城京の東西に置かれた市では, さまざまな品物が売買され, 和同開珎などの貨幣が使われた。
- 3(1) 島原(長崎県)や天草(熊本県)の人々は, 1637年, 神の使いとされた天草四郎〔益田時貞〕という少年を大将にして一揆をおこした。幕府は大軍を送ってようやく一揆をしずめ, 1639年にはポルトガル船の来航も禁止した。
- (2) 幕府が貿易を統制し, 日本人の出入国を禁止した政策は, 江戸時代後半に「鎖国」とも呼ばれるようになった。